

TUMSAT-OACIS Repository - Tokyo

University of Marine Science and Technology

(東京海洋大学)

第一部 海鷹丸航海調査報告 平成13年度 第6次航海報告

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2008-04-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://oacis.repo.nii.ac.jp/records/245

4.4.11

太平洋側メキシコ沖の突風について

林敏史・野田明・浜田浩明・山崎紗衣子・小池義夫

(東京水産大学研究練習船)

Note on the High Wind of Mexico shore off in the Pacific Ocean

HAYASHI Toshifumi, NODA Akira, HAMADA Hiroaki

YAMASAKI Saeko and KOIKE Yoshio

(Tokyo University of Fisheries, Research and Training Vessels)

1. はじめに

東京水産大学練習船海鷹丸は、第6次航海(水産専攻科遠洋航海)において、太平洋側メキシコ沖 (Fig.1) にて風速約 23.6m/s・北東 NE の突風に遭遇した。このときの状況を報告する。

(1) 月日：2002年2月22日 (2) 位置：15.51 N. 110.46 W.

2. 天気図及び海表面水温図

Table.1 Record wind Data

Time	Wind	Roll(deg)
15:00	14.5m/s,N/E	5, 4
18:00	21.4m/s,NNE	33,17
20:00	23.6m/s,NE/N	23,13
21:00	23.4m/s,NE	25,15
MN	15.6m/s,ENE	14,11

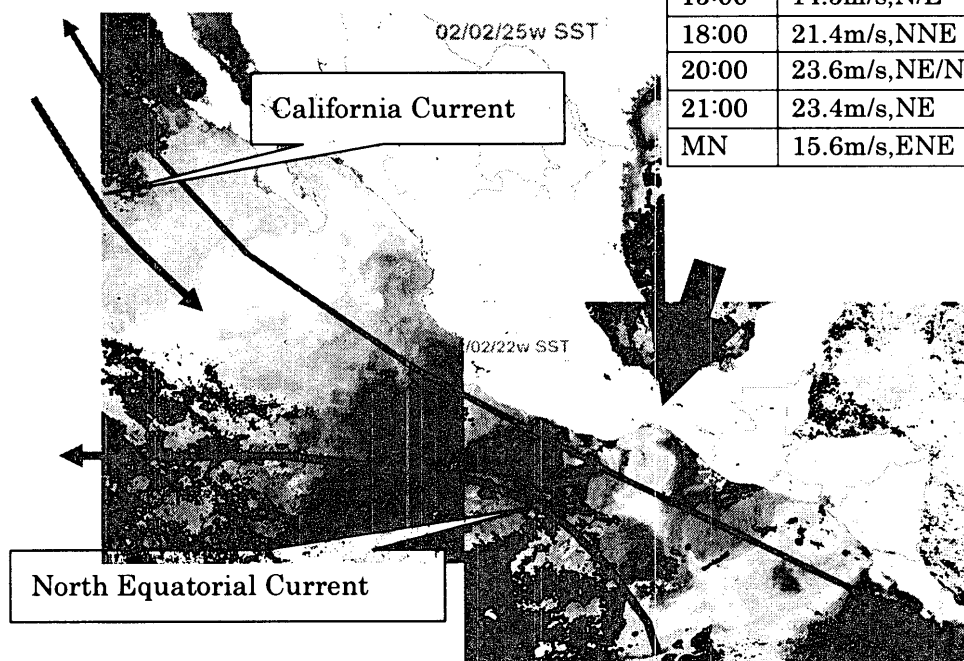


Fig.1 Surface temperature picture at Middle America by NOAA

3. 海象気象

天気図 (Fig.2) から示されているとおり、メキシコ湾のくびれ部分に高気圧と低気圧の間の等圧線が密になり、最大平均風速 23.6 m/sec の突風が約 12 時間約 160 mile (Table.1) に渡って吹き荒れた。本船は、右舷横から風を受け、最大 33 度左舷に傾斜した。コピー機、カラープリンターが倒れた。

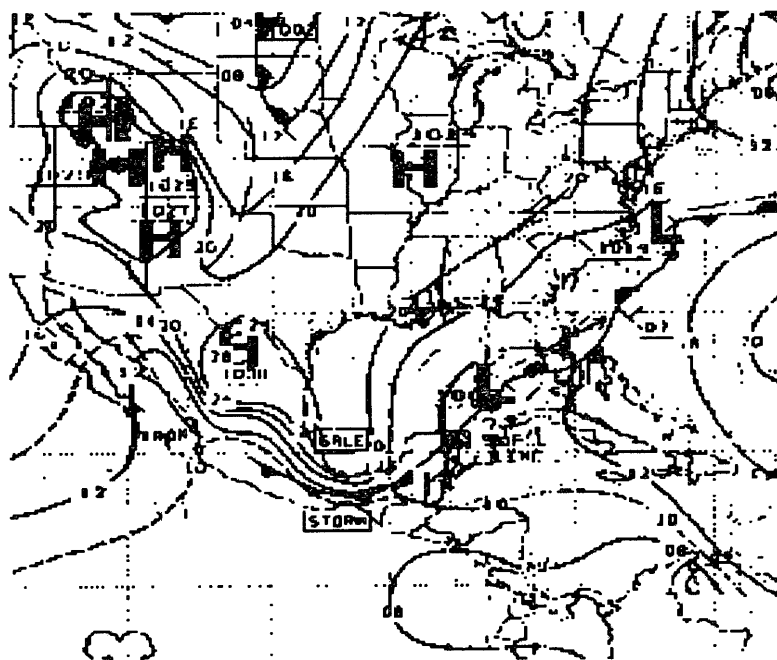


Fig.2 Weather Chart (23rd Feb '02)

4. おわりに

人工衛星 NOAA の海表面図からこの海域に水温差約 5.0℃の水塊があり、また気圧は 1010.1~1014.0 であった。この地域では、夏季に NE の強い風が吹くことがあり、また Santa Ana と呼ばれる東寄りの突風が吹くことが知られている。今回の強風は、メキシコ湾の低気圧と高気圧の縁における等圧線が密となり風が吹いたと思われる。

Reference

- 1) Pacific Coasts of Central America and United States Pilot (Admiralty) NP.8